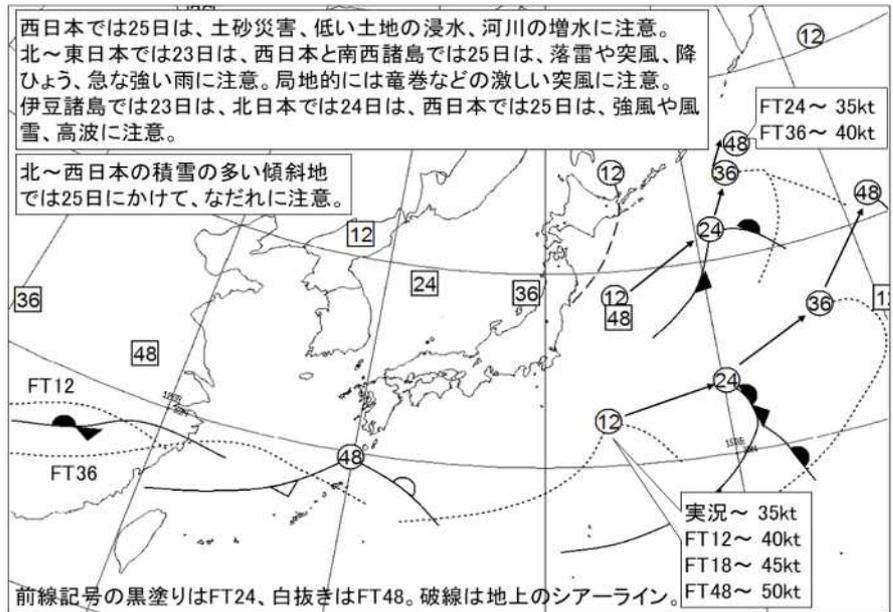


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5400m付近の-30℃以下の寒気を伴うトラフに対応した低気圧が宗谷海峡付近にあって、東進。シアーラインが日本海にのび、北陸地方で雷を検知。
- ② 500hPa 5520m付近の-27℃以下の寒気を伴うトラフが本州付近を東進。
- ③ 前線を伴った低気圧が東海道沖にあって東進。伊豆諸島では波が高くなっている所がある。
- ④ 中国東北区に高気圧があって、南東へ移動。西日本は、高気圧に覆われて広い範囲で晴れている。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①・②のトラフは24日はじめにかけて位相を合わせて北～東日本を通過し、24日朝は日本の東へ進む。また、1項①の低気圧は、24日朝はオホーツク海へ進み、シアーラインが23日に北～東日本を通過する。シアーラインや低気圧に向かう下層暖湿気および上空寒気の影響で、大気の状態が不安定となる所がある。北～東日本では23日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ② 1項③の低気圧は、23日夜は日本の東へ進む。低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなる影響で、波が高くなる所がある。伊豆諸島では23日は、高波に注意。
- ③ 23日夜までに三陸沖で低気圧が発生し、前線を伴って発達しながら北東へ進む。低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、雪を伴った強い風が吹く所がある。北日本では24日は、強風や風雪に注意。
- ④ 500hPa 5700m付近の強風軸に対応して、24日は前線が再び華中から南西諸島付近へのびる。500hPa 5700m付近のトラフに対応し、25日朝までに前線上の東シナ海で低気圧が発生し発達しながら東進、25日夜は四国の南へ進む。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。また、前線や低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなるため、強い風が吹き波が高くなる所がある。西日本では25日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、強風や高波、落雷や突風に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。南西諸島では25日は、落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ⑤ 1項④の高気圧は、24日は日本海、25日は本州から日本の東へ移動する。24日は北～西日本で、25日は北日本で高気圧に覆われて晴れる所が多い。晴れることによる気温上昇や、2項④の降水の影響で雪解けが進む。北～西日本の積雪の多い傾斜地では25日にかけて、なだれに注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(18時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(18時から24時間)：多い所(注意報級以上)はない。③ 波浪(明日まで)：伊豆諸島3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。